

きほくのまち人探訪

「長年にわたり牛鬼づくりの楽しさを伝える」



はちすか たいぞう
蜂須賀 泰造 さん

長年にわたり牛鬼を作っている蜂須賀泰造さん。泉公民館や泉小学校で牛鬼づくり教室を開催し、作ることの楽しさを伝えています。

蜂須賀さんが初めて牛鬼を作ったのは35年ほど前のこと。当時、勤めていた南愛媛病院で重症心身障がい児(者)病棟の入所者たちが、宇和島の牛鬼祭りを見たことがなかったことから、牛鬼を見せて喜ばせようとしたことがきっかけでした。蜂須賀さんは、赤い布で体が覆われた体長5mほどの牛鬼を独自の作り方で制作。入所者たちは迫力ある牛鬼を見て喜んでくれたそうです。

その後、趣味となった牛鬼づくり。21年ほど前から泉公民館で毎年牛鬼づくり教室を開催。さらに、泉小学校でも定期的に教室を開いています。小学校では、牛鬼のひげにナイロンテープを使用しています。色とりどりのテープがあることから、個性豊かな作品が出来上がるそうです。

蜂須賀さんの作る牛鬼は、宇和島市内でお土産としても販売され、平成30年からは町のふるさと納税の返礼品にもなりました。魔除けとしても親しまれている牛鬼。蜂須賀さんは、「新型コロナウイルスの収束も願いながら牛鬼を作りたい」と笑顔で話していました。

ALTの鬼の里Diary ~Chrisdelle編~

「Let's enjoy Halloween」



10月になると、葉は赤、オレンジ、黄色に変わり始めます。爽やかな秋の空気を感じることができ、その上を歩くと、乾いた落ち葉の音が聞こえてきます。10月と言えば、私はシナモンアップルパイと大きなオレンジ色のカボチャ、そしてハロウィーンのことを思い出します。

毎年、ニューヨーク州では「ニューヨークシティビレッジハロウィーンパレード」を開催しています。誰もが参加できるワイルドでクリエイティブな公開イベントです。多くの人がパレー

ドに参加したり、ボランティアとしてイベントの補助をしたりします。今年のテーマは、ニューヨークの子どもたちと外に出て自由に遊ぶことを願う私たち全員に敬意を表し「Let's Play」となりました。それまでは、みんなの安全を守るためにもできるだけ家にいなければなりません。ハロウィーンを祝うために、怖い映画や魔法の映画を見ることもおすすめです。

今年は、パンプキンスパイラテを作ってみようかなと思います。上手くできるといいな。

地域おこし協力隊活動日記

「松野町とのコラボ商品を開発」

地域おこし協力隊1年目の
のぐち たかひろ
野口 貴博



商品開発のため、道の駅三角ぼうしで乾燥事業に取り組んでいます。

先月、松野町とのコラボ商品が生まれました。各季節で採れる旬の果物や、この時期にしか採れないものを乾燥させてみてはどうかと考えていたときに、松野町で紅茶を販売されている元地域おこし協力隊の川嶋さんと出会いました。川嶋さんの紅茶を飲んだときに、紅茶と乾燥した果物をかけ合わせたら、とても良い商品が生まれると思い、コラボすることを決めました。

自治体の枠を飛び越えて商品化できたことを皮切りに、町内という枠にと

らわれずにさまざまな商材を使いながら、商品開発を行っていきます。



▲乾燥した桃と青柚子